

2026年度 北見藤高等学校シラバス

2026年度 北見麻高等学校シラバス											
【教科】 【科目】	【英語科】 【論理表現Ⅰ】	3年	2 単位	教科書	be English Logic and ExpressionⅠ Clear	副教材等	be clear Grammar BookⅠ Smart	履修対象・ 使用教室 等	3年アクティブ 各HR教室		
教科・ 科目 の 目標	日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、 1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。										
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4 技能〈聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと〉において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている			○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。			○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。				
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5 段階の評定」とする。										
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等				知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	単元テスト		5回				60		60		20
	課題		不定期（長期休暇や単元テスト毎）				20		20		40
	教科書、ワークチェック		不定期（長期休暇や単元テスト毎）				20		20		40
	〔観点別配分%〕		（3 観点の比重を%で示しています）								
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名		配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度		
4 5	LESSON 14 The World of Nature		11	・分詞を正しく用いて表現することができる。 ・自然について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。			単元テスト ワークブック 教科書点検 その他課題		○ ○	○ ○	 ○
6 7	LESSON 15 Trouble and Accidents		12	・分詞構文などを正しく用いて表現することができる。 ・トラブル・事故について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。			単元テスト ワークブック 教科書点検 その他課題		○ ○	○ ○	 ○
8 9	LESSON 16 Inventions		11	・関係代名詞を正しく用いて表現することができる。 ・発明について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。			単元テスト ワークブック 教科書点検 その他課題		○ ○	○ ○	 ○
10 11	LESSON 17 Cities and Towns		13	・関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・都市・町について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。			単元テスト ワークブック 教科書点検 その他課題		○ ○	○ ○	 ○
12 1	LESSON 18 Living Environment		11	・比較表現を正しく用いて表現することができる。 ・生活環境について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。			単元テスト ワークブック 教科書点検 その他課題		○ ○	○ ○	 ○
学習の アドバイス	授業中に学習したことを何度も繰り返して、使えるようになることを目指してください。										